

# 1 はじめに

神は乗り越えられる試練しか与えないといわれますが、あまりにも大きな試練であった東日本大震災の発生から1年が経過しました。この大きな試練を乗り越え、復興できたと実感できるその日が1日も早く訪れることを願わずにはられません。

この1年のうちに、被災された方々は避難所から応急仮設住宅、民間賃貸住宅、改修した自宅等へと移られ、生活の再建に取り組まれておられます。また、地域産業等の復旧・復興は緒に付いたばかりです。

宮城県も被災市町もそれぞれに震災復興計画を策定し、平成24年度を正に復興元年と位置づけて震災復興事業をスタートさせることとなります。

気仙沼保健福祉事務所は、震災から数日間はライフラインの遮断や情報通信機能の不全があったものの、津波による被災を免れたこともあり、初動期から被災市町への保健活動支援や環境衛生面での災害対応活動を展開してきました。

本書は、当事務所の東日本大震災における1年間の災害対応活動について記録したものです。今回の活動・体験を風化させないために、また、記憶も然る事ながら記録によってそれを確かなものとしておくために作成したものです。

後任の職員諸氏及び関係者の皆様に活用していただき、もうあって欲しくはありませんが、今後の災害対応の一助としていただければ幸いです。

結びに、当所の活動に御協力をいただいた各方面の関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成24年3月30日

宮城県気仙沼保健福祉事務所  
所長 鈴木 博正